

長距離歩行を終えて

○長距離歩行は仲間の大切さを改めて感じる事ができました。始めは班のみんなで歩いていて途中2つに分かれました。私たちの方が歩くペースがゆっくりで他の2人とけっこう距離が離れてしまいました。だけど、2人は三連水車の所で嫌な顔せず待っていてくれてうれしかったです。そのあとは班のみんなで歌ったり話したりしながら楽しくゴールできました。今回の長距離歩行を通して、待っていてくれた班のみんなや、歩く途中楽しく話してくれた学年のみんなの大切さが実感できました。この思いを忘れずにたいです。

(1組)

○僕はスタートする前 36km なんて楽勝だと思っていました。しかし、10km 地点で昔ケガをしてしまった所が痛くなり、歩くのが遅くなって班員のみんなに迷惑をかけてしまいました。しかし、班長の神谷君が僕のペースに合わせて歩いてくれ、しかも励ましてくれたので無事ゴールすることができました。僕はすぐに無理だとあきらめるのではなく、がんばって挑戦することが大切だと思いました。この長距離歩行で何事もあきらめない自分になれたと思います。

(2組)

○長距離歩行、最初は 36km なんて楽だろうと考えていました。始めは、楽だと言いながら歩いていましたが、午後食事を終えて歩き出してみると、思うように足が動かなくなっていました。それでもがんばって、ゴールまであと 1km ほどになると、今までの倍ほど足が痛くなりました。でもそんな時、友だちの声で歩く気分を取り戻し、無事ゴールすることができました。僕は、仲間の大切さを再確認できたと思います。そして、つらいときにがんばれる新しい自分を見つけられた気がします。立志の会では、この新しい自分を糧に大人への第一歩を踏み出せる気がします。

(3組)

○私はゴールした時が一番印象に残りました。私は最後尾で一番遅れていてゴールは無理だと思っていました。でもあきらめないで、友達や先生と一緒に歩きました。先生は、励ましながらペースを合わせて歩いてくれました。友達のあきらめないで歩いている姿を見て、歩こうと思い、最後まで歩けました。私は、友達や先生のおかげであきらめない自分になりました。私は、長距離歩行でいろんな人に助けられました。友達、先生、そしてお母さんたちです。いろんな人達から「がんばれ」と言ってもらったのでがんばれました。最後に長距離歩行の達成感を味わえてよかったです。一生の思い出になりました。(4組)

○ぼくは 36km を全部完歩しました。終わったとき、足にまめができました。でも一生懸命がんばりました。中でも一番思い出に残っていることは、豚汁を食べたことです。36km 終わったあとの豚汁は最高でした。友だちと一緒に話しながら食べたので、とてもおもしろかったです。あと、校長先生が都築弥厚に変装していた所もおもしろかったです。もう長距離歩行はやらないので、少しだけさびしいです。(7組)



先頭集団、快調なペースです！



班の仲間とみんなでGOAL～！！